

鹿児島大学病院で原発性・転移性肝臓に対する

平成 26 年 9 月 18 日

化学療法による治療をお受けになった患者さんへ

研究課題名：肝臓に対する化学療法における酸化ストレス指標と癌転移マーカー(Osteopontin)の活性との相関に関する研究（多施設共同研究）

1、【対象】当院、放射線科において 2009 年 10 月～2010 年 10 月に原発性・転移性肝臓に対する化学療法による治療をうけ、緑茶ポリフェノールによる肝臓に対する化学療法との相乗効果と副作用の軽減について」の研究に参加された方が対象となります。

2、【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

先進治療科学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学分野

3、【目的】本研究は肝臓患者における Osteopontin の活性を評価し、腫瘍の制御における緑茶ポリフェノールと Osteopontin の計測の有用性を検討し、明らかにすることを目的としたものです。

4、【方法】

本研究に参加された患者さんの研究中に採血した検体から Osteopontin を計測して評価します。また、それを元にデータの解析を行います。

5、【意義】

本研究により原発性・転移性肝臓の化学療法において緑茶ポリフェノールおよび Osteopontin の役割が評価でき、原発性・転移性肝臓の化学療法の成績の向上に役立てることが出来ます。

6、【個人情報の扱い】

調査結果の発表や出版に関しては個人が特定されるような情報は掲載しません。また得られた資料は研究計画書に記載した以外の研究には使用しません。個人情報は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後に破棄します。

7、【問い合わせ先】

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院

放射線診療センター（放射線科）

助教 林 完勇

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

Tel 099-275-5417 Fax 099-265-1106

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~radiol/ippan/kenkyu.html>